

## 加入団体の活動紹介

石川地域づくり協会では、羽咋市の地域づくり団体「学びあい5色の絵の具」に訪問してお話を伺いました。

### 学びあい5色の絵の具（羽咋市）

2021年5月取材

#### 【団体PR】

「学びあい5色の絵の具」の名前の由来は、色の三原色（赤、青、黄）に白、黒を加えた「この5色の混ぜ方」を工夫することで、すべての色を創りだせることです。

これを地域づくりに例えて、地域住民が持っている様々な力を「だし合い・繋ぎ合い・磨き合う」ことで、その地域に合った色を創りだし、暮らしやすい町を住民自身が創っていくことができると思い、「色の混ぜ方教室」を開催しています。

#### 【団体の活動内容と成果について】

設立から3年間（2017-2019）は、市民（町会役員・民生委員・地域福祉員など地域の第一線で活動する人たち）行政職員・議員・介護施設関係者、社会福祉協議会職員など地域づくり関係者が共に学ぶ学習会を計7回開催しました。



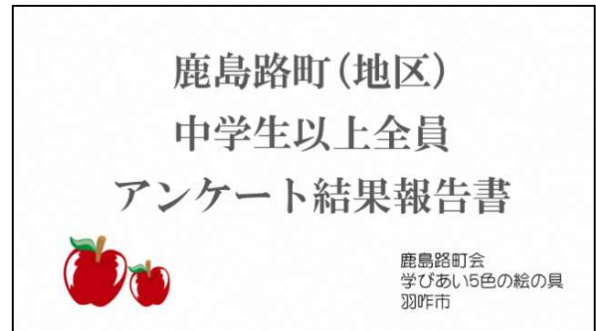
2019年12月23日開催の学習会の様子

#### ●テーマ

5年先・10年先に向けて“今”始めること  
～自分が住む地域（町）のこれからを考える～

学習回数を増すごとに参加者数が増加し、リピーターも多くなり、このような学習会を住民が求めていると思いました。

しかし、学習会の成果は地域のより善い変化です。個人参加の学習会では地域を変えることが難しいのではと考え、昨年度は個別町会を対象に「中学生以上の全住民アンケート」を実施しました。



全戸配布しました（鹿島路町会の人口は525人・高齢化率49.3%、回収率は83%でした）

当団体の活動の目的は、人材育成と地域の変化であるため、アンケート調査と調査結果を生かした地域づくりを実践している経験者をお招きし、町会役員と行政職員が共に学ぶ学習会も行いました。

その結果、アンケート結果を生かした町づくりを進めることを町の総会で決定し、新たな視点からの町づくり活動が始まりました。

### 【工夫したところ】

地域(町会)の問題課題をテーマにし、そのテーマに即した講師の選定を企画運営の基本においたこと。さらに、行政・社会福祉協議会に属する関係団体を通じて啓発チラシをダイレクトに届けたこと。また、住民の関心事は自分が住む町のことであるため、個々の町情報(人・高齢化率等)を作成し配布しました。なお、活動費は、助成金・行政委託費・学習会参加費等で運営しました。

### 【今後の課題】

今後は、住民アンケート調査を市内の各町会で実施し、そこから誕生した地域活動を支援していくこと。そして、その住民自治活動の発表の場を行政と協働して毎年実施していくことが課題です。あわせて、この事業を経年的に安定して実施できる当団体の体制づくりも課題です。

### 【代表の定免さんについて】

行政職員時代に協働のまちづくりを担当し、市民が力を持っていることに気づき、その市民の力を生かしたまちづくりをライフワークにしたいと思い56歳で早期退職をしました。その後、中間支援団体を始め多様な分野から協働のまちづくりに携わり、2017年団体を設立しました。

投稿者：運営委員・事務局 若林恵一郎